

2022 年 4 月から 2023 年 3 月までに 当センターで感染症治療を受けられた方へ

当センターでは下記の臨床研究を実施しています。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

● 研究の名称

FilmArray® Torch システム新規血液培養パネル(BCID2)導入が感染症診療に与える影響

● 研究の対象

2022 年 4 月から 2023 年 3 月までに腸球菌・グラム陰性菌感染症・Bacteroides.fragilis・コアグラージェ陰性ブドウ球菌が血液から検出された方

● 研究の期間

倫理委員会承認後から 2025 年 3 月まで

● 研究の目的

感染症治療では、原因となる病原菌を特定するための細菌検査が行われます。当センターでは 2019 年 11 月より、従来の検査方法より迅速に病原菌を特定することが可能な全自動遺伝子解析装置「FilmArray®Torch」が導入されました。FilmArray®Torch は迅速に感染症を診断し、不適切な抗菌薬使用を減少させることが報告されています。従来、FilmArray®Torch では「BCID パネル」というパネルが使用されてきましたが、BCID パネルの改良版である「BICD2 パネル」が発売され、当センターでも使用が開始されています。「BICD2 パネル」は従来のパネルと比較して、腸球菌・グラム陰性菌感染症・Bacteroides.fragilis・コアグラージェ陰性ブドウ球菌という病原菌による感染症に対して優れた効果を発揮する事が期待されていますが、実際の医療機関での有用性を検討した報告は多くありません。本研究では腸球菌・グラム陰性菌感染症・Bacteroides.fragilis・コアグラージェ陰性ブドウ球菌感染症に対する BICD2 パネルの臨床的有用性を調査することを目的としています。

● 研究の方法

上記の期間に当センターに入院し、腸球菌・グラム陰性菌感染症・Bacteroides.fragilis・コアグラージェ陰性ブドウ球菌が血液培養から検出された

研究 - 参考書式 1

方の背景（年齢、性別、身長、体重、既往歴、入院診療科、入院契機疾患など）、細菌検査結果、投与された抗菌薬の種類や使用状況、転帰、在院日数を電子カルテより収集します。得られたデータを BCID2 パネル導入前後で比較することで、BCID2 パネル導入が感染症診療にどのような影響を与えているか検討します。

● 研究に使用する試料・情報

年齢、性別、身長、体重、既往歴、入院診療科、入院契機疾患、細菌検査結果、投与された抗菌薬の種類や使用状況、転帰、在院日数

● 研究組織

研究責任者：東京都健康長寿医療センター臨床検査科 野口穰

共同研究者：東京都健康長寿医療センター薬剤科 瀧川正紀

● 資料の入手または閲覧、開示

この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じてあなた自身の資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。

● お問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

連絡先：東京都健康長寿医療センター臨床検査科 野口穰（平日 9：00～17：00）

03-3964-1141（内線：2221）